

防災フェスタ参加して・・・

副校長 細井宏一

9月10日（日）に、練馬区防災フェスタが、附属国際中等教育学校校庭で行われました。多くの方が来場していてとても賑わっていました。本校児童も参加していたようです。



いつも見ている隣の学校が、まったく違った場所のようでした。校庭にはテントがずらっと並び、ブースになっていて、多くの団体が活動の紹介をしています。パトカーや白バイ、様々な種類の消防車、被災地救援用の車が校庭や通路に展示されていて、実際に乗ることができるようでした。はしご車では、はしご先端のかご（バスケット）に乗る体験も行っていました。はしごがぐんぐん伸びて、校舎よりもずっと高くなる様子に歓声があがっていました。他にも消化訓練や煙体験、起震車による地震体験などもできるようになっていました。国際中等のボランティア部のブースもあって、ジーパン（古着）からナップサックをつくるという紹介をしていました。

小さいお子さまも楽しめる工夫があって、子供たちは大喜び。保護者もその様子を写真撮影できますし、大人としても防災について、考える機会になっていました。「防災」というと「真面目に取り組まなければならないもの」というイメージもありますが、家族で楽しめる催しになっていて、体験しながら、楽しみながらも、防災について考える機会・きっかけをつくることは、大切であると感じました。

影響を受けやすい私は、我が家に帰って早速、防災グッズの点検をしました。押し入れの中から非常用のナップサックを取り出します。4つありました。少し嫌な予感がしました。中には、水、食料、毛布、懐中電灯、ラジオ、メモ用紙など一応一通りのものは入れてあります。そしてやはり恐れていたことが起こりました。そうです、水・食料の賞味期限を見ると、なんと「2013.8」という数字。期限が切れて4年間も経過していたのです。5年前に揃えたのですが、押し入れの中にそのままに置いて、みんな古くなっていました。「もったいない・・・」。

家族で対策を話しました。そして「ナップサックは押し入れにいれずに、見えるところに置いておく」。「夏と春の長期休業の時には、中身の点検・交換をする」と、約束を決めました。

みなさんのお宅は大丈夫でしょうか。この機会に防災の備えについて、なおしてみたいかがでしょうか。今回の学校通信がそのような機会にしていただければ幸いです。

